

平成29年度 佐賀県PTA連合会定期総会開催



佐賀新聞社
編集局長 澤野 善文 氏

佐賀県教育委員会
教育長 白水 敏光 氏

佐賀県PTA連合会
会長 江田 明弘



発行所
佐賀市与賀町 1-24
佐賀県PTA連合会
☎0952-262276
印刷 佐賀印刷社

発行責任者
会長 江田 明弘

語り合おう！
「家庭の日」
(毎月第三日曜日)

小学校の部 松浦小学校育成会 「まつなみ」



第38回PTA新聞コンクール最優秀賞受賞



「ふじ」
中学校の部 嬉野中学校PTA

県内各地にて日々PTA活動に取り組み、おられます皆様、敬意を表しますとともに、佐賀県PTA連合会の諸事業に対し、ましてご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、日本にPTAという言葉が入って七十年になります。これまでPTAを通じて先輩諸氏がなされてきた功績が今もなお引き継がれています。学校給食の制度化、校舎の増築や改修工事、教科書無償配布、学校保健の実施など、今では当たり前のようになつた事も決して当たり前ではない時代がありました。その体制を生み出した背景には、

今置かれている現状をしっかりと把握し、課題や問題点を会員皆で共有し行動してきた結果であります。

PTAの目的は「教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育、家庭教育の充実、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与することを目的とする」一般に「子どもたちのために何をするのか。」このためにある団体であると思つていただける方ばかりです。

んだだと思つています。これは目的の後半の部分に当たりますが、しかし、前半の「親や教師が学ぶ」があつてこそその子どものためであり、単純に子どものためはこの目的は成り立ちません。まずは私たち大人が学び、考え、そしていい親い教師になることが目的を追求する第一歩だと思つています。PTAが社会教育団体である理由は目的前段の考える事を要求されることにあるからです。目的とは達成させるものではなく、追究していくものです。つまり私たちの活動は完結することなく、どんな時代になつても道は変わらず術を変えながら続けていくものです。

最後に子どもたちの輝く未来のために、共に考え、学び、実践し、そして、佐賀県PTA会員の絆がより一層強くなるよう、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

ごあいさつ

佐賀県PTA連合会
会長 江田 明弘

ランドセル



小学校三年生の長男のランドセルを背負ってみました。長男から「気持ち悪い...」と言われながら、気付いたことがありました。ランドセル、意外と軽いなど口ずさむと、長男は「結構、重いよ」と言います。確かに自分が小学生の頃、ランドセルは重くて登下校で肩が痛かつた事を思い出しました。そんな会話を長男としていると、自分の小学生の頃の思い出が色々ときどききましました。

私の父は、三十七年前、私が小学一年生の時に、交通事故で亡くなりました。父に買ってもらったランドセルや机や地球儀をとて大切に使っていたことを覚えています。いつの間にか亡き父の年齢を越え、結婚し、四人の子どもに恵まれ、色々な責任を背負い、多忙な日々の中、様々な人々に支えられ過ぎていくことに幸せを感じ生きています。

しばらくランドセルを背負っていると、「お父さん、ランドセルが壊れるから、もうやめてよ」と長男が言うので、長男にランドセルを返しました。すると不思議に背中が軽くなるのを感じました。

皆さんも、お子さんのランドセル背負ってみて下さい。ランドセルを背中から下ろした時に、一緒に日頃の疲れや、抱えている問題も少し軽くなるかもしれませんよ。

千代田東部小P 江頭 成明

新副会長になりました よろしくお願ひします



神埼地区
東脊振小 P
埜口 諦順

今年度から佐賀県 P T A 連合会の副会長を務めさせていただきます埜口（のぐち）と申します。

至らない点もあるかと思いますが、同じ世代の子を持つ皆様と苦楽を共有しつつ、P T A 活動が有意義なものになるようサポートできればと思っております。よろしくお願ひいたします。

さて、「P T A の歌」の四番に『世界を結んだ 大空に

ひびいて子どもの 胸が鳴る あしたの鐘よ 夕べの鐘よ

平和で住みよい 日本を みんなで一緒に つくろうよ』

という歌詞があります。耳慣れない歌詞ですが、よく読んでみると、無限に広がる可



唐津地区
相知小育
佐伯 玄一郎

今年度から、佐賀県 P T A 連合会の副会長を務めさせて頂くことになりました、唐津地区 P T A 連合会の佐伯玄一郎と申します。

今日まで単位 P T A の会長として活動を行ってきましたが、それを振り返る度に多くの皆様に支えられてきたことに改めて気付かされ、感謝している次第でございます。

私は子どもが大好きです。しかし、一日中子どもと過ごせるわけではありません。多くの時間を学校で過ごし、先生方に育んでもらっています。その先生方と連携し、子どもたちを健やかに育てる場、また、我々保護者も共に学ぶ場として、育友会活動を

能性に心躍る子どもたちがほのぼのとした家庭の中で、生き生きと成長していく姿が目に浮かびます。

最近では、テロや事件事故、自然災害など他人ごとではない身近で起こりうる出来事が多く、ネットに繋がれば「〇〇がいろいろしい」「〇〇は間違ひ」など不安を煽る広告や情報が増え、誰を、何を信じていいものなのか。P T A では、県・地区・単 P それぞれで多数の講演会や催しがなされております。こういった場で必要な情報を仕入れ家庭に生かし、噂話ではなく良い情報を共有して、一人一人が周りを明るく照らし、ほのぼのと安心して暮らせる家庭・社会にしていけたらいいですね。

保護者、先生方、地域の皆様にはご負担をおかけすることもあろうかと存じますが、P T A の活動に、引き続きのご理解・ご協力をお願い致しまして挨拶とさせていただきます。

行っています。

そのような中、インターネット等で、組織の不要論が目に入ってくるのは誠に残念でなりません。

裏千家前家元の千玄室さんの言葉に「不易流行の中にも温故知新」という言葉があります。これは、古き姿を正しく理解して、その上に時代錯誤にならないようなものを積み重ねていくという意味で言われました。

組織が要るか要らないかの議論ではなく、時代錯誤のような所があるならば、どうすればそこに近付いていけるか、皆で知恵を出し合い話すのが議論ではないでしょうか。そして、その中で生まれたものを新たに積み重ねていく。また、長い歴史の中で大切にされてきたものは簡単に無くすのではなく、より良い物にしていくべきと考えています。その為にも、引き続き皆様のご協力とご理解を宜しくお願ひいたします。

平成29年度 基本方針・努力目標・事業計画

1. 基本方針

【日本PTA全国協議会綱領】

公益社団法人日本PTA全国協議会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育、家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与することを目的とする。

佐賀県PTA連合会は日本PTA全国協議会の綱領と同じ目的を持った県下の単位PTAの集合体です。市郡連PTA（単位PTA）との相互の連絡調整を図り総意を形成し、行政や関係諸団体と協議・研究を行い、連携して子供たちの健全育成とPTA会員の資質向上及び教育の振興を図ることを本務としています。

本連合会は市郡連PTA（単位PTA）と行政と関係諸団体を結ぶ三者の架け橋の役割を果たしていくため、信頼関係の構築を基本とし積極的に活動していきます。

これまでに以上に、これからも様々な団体や佐賀県民のみなさまと協力体制を築きながら、会員のみなさんに必要とされる組織体系を構築してまいります。

【スローガン】親も子も ともに成長！ ともに進化！

2. 努力目標

(1) 組織・運営

会員の意識と連帯感の向上を図る。

(2) PTA活動の充実と活性化

県内PTAの親睦と交流を深めるために必要な研究活動や情報発信をおこない、市郡連PTA活動の支援につとめる。

(3) 家庭・地域との連携と地域活動の活性化

教育の原点は家庭にあることを再認識し、家庭や地域社会の教育力を高めるために学校・家庭・地域社会がそれぞれ、適切な役割分担を果たし、相互に理解・連携につとめる。

(4) 教育環境の改善

教育環境の改善をはかるため、市郡連PTAとの連携のもと佐賀県教育委員会及び関係公共機関その他社会教育諸団体等との連携、働きかけを推進する。

(5) 情報・資料提供の推進

PTA活動に関する情報・資料収集をおこない情報提供を行うなど、会員の学習と共通理解を深める。

(6) 会員や児童生徒の安心感を確保する取り組み

単位PTA活動を円滑且つ安全に行うためにPTA安全互助会事業を行う。また、会員及び子供の日常生活の安全・安心感の充実のため、小中学生総合保障制度加入を奨励する。

(7) 健全な財政と組織の充実

これからの事業をより拡大、充実させるため健全な財政を確立し組織の充実整備をめざす。

3.事業計画

(1) 研究・研修活動

- ・佐賀県PTA連合会研究大会（11月）
- ・母親研修会（7月）
- ・市郡連リーダー研修会（1月）
- ・PTA広報セミナーへの参加奨励（5・6月）
- ・県教育委員会と県P連理事の合同研修会（8月）
- ・県小中学校校長会と県P連理事と母親委員との合同研修会（9月）
- ・県退職校長会、高等学校PTAと正副会長との合同研修会（1月）

(2) 広報活動

- ・県PTA新聞の発行（年間6回）
- ・HP（ホームページ）による情報提供

(3) 市郡連PTAの交流事業

- ・市郡連親睦母親ミニソフトバレーボール大会（10月）

(4) 表彰事業

- ・優良単位P T A 及び会員表彰
- ・優良PTA新聞の表彰
- ・三行詩コンクール出品の奨励
- ・いじめ防止標語コンクール出品の奨励

(5) 市郡連・単位PTAへの支援事業

- ・市郡連研修補助事業
- ・いきいきがんばれ！単P事業
- ・小中学校総合保障制度加入促進事業
- ・市郡連事務局充実事業

(6) 家庭・地域との連携と地域活動の活性化事業

- ・「学力向上」「ノーテレビノーゲームデー」「あいさつ運動」「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発活動
- ・「子育て応援メッセージ」活動

(7) 児童生徒の安全・安心を守る事業など

- ・「県下一斉安全指導」(6月・9月)
- ・佐賀県P T A 連合会安全互助会
- ・小中学生総合保障制度
- ・防災マップコンクール出品の奨励

(8) 保険事業

- ・佐賀県P T A 連合会安全互助会
- ・小中学校総合保障制度加入促進

平成29年度 役員・理事・評議員

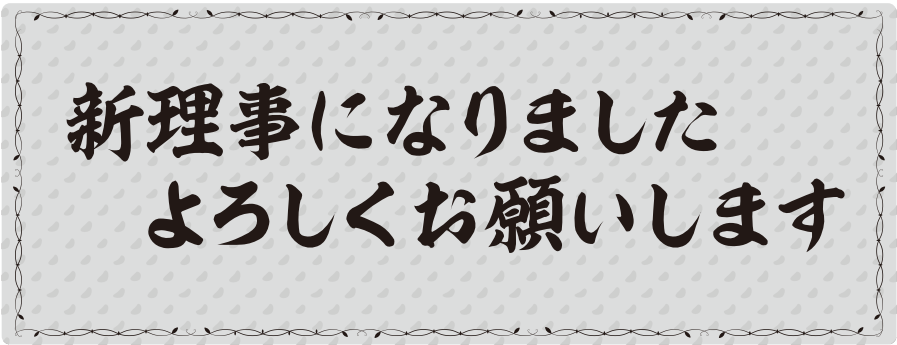
役 員	氏 名 (所属)	役 員	氏 名 (所属)
会 長	江田 明弘 (基里小)	副会長(校長会代表)	中村 敏智 (勸興小)
副 会 長	井上 浩 (青嶺中)	監 事	唐島 由晃 (三里小)
副 会 長	埜口 諦順 (東脊振小)	監 事	古川 裕紀 (千代田中)
副 会 長	佐伯玄一郎 (相知小)	監 事	松尾 佳昭 (有田中)
副会長(母親代表)	石橋恵美子 (神埼中)		

所属市郡	理 事 名 (所属単P)	評議員名(所属単P)	所属市郡	理 事 名 (所属単P)	評議員名(所属単P)
鳥栖地区	古賀 和浩 (基山中)	下田 太三(鳥栖中) 近藤 信也(基里中) 有馬 隼人(鳥栖西中)	西松浦郡	辻 安秀 (有田中部小)	三島 直人(大山小) 川尻 雅子(有田中部小) 池田 昇(大山小)
三養基郡	山崎 裕史 (三根中)	川崎 啓二(上峰小) 岩崎 正樹(三根中) 日野 博之(北茂安小)	武雄市	大串 成人 (武雄中)	橋口 晃幸(御船が丘) 福田 正宏(朝日小) 古賀 浩紀(武内小)
神埼地区	埜口 諦順 (東脊振小)	古川 佳史(千代田西部小) 實松 清之(東脊振小) 宮原 麗子(三田川小)	杵島郡	吉村 浩 (福富中)	石橋 実(福富中) 梶原 裕隆(江北小) 松永 太(大町ひびり)
佐賀市	宮崎 悟 (鍋島中)	荒木 健(本庄小) 江崎 史尚(蓮池町) 番場 准子(城北中)	鹿島市	松尾 博雅 (西部中)	松尾 賢一(浜小) 中島 哲徳(鹿島小) 川原 仁(北鹿島小)
小城市	右近 貴臣 (牛津小)	田中 慎也(三日月小) 濱野 浩成(小城小) 本村 和昭(芦刈観瀾)	嬉野藤津	池田 研二 (大野原小中)	楠田雄一郎(久間小) 古井 恵子(大浦中) 宮崎 恵子(吉田小)
多久市	樺島永二郎 (東部校)	野中 直弥(中央校) 江副ちはる(西溪校) 釘本 浩(東部校)	母親 副委員長	石山 恵美 (佐志中)	事務局 分掌事務
唐津地区	佐伯玄一郎 (相知小)	江藤 渉(久里小) 中野 歩(北波多中) 谷口 俊彦(湊小)	母親 副委員長	西村 悦子 (福富小)	
伊万里市	井上 浩 (青嶺中)	梶山 康正(青嶺中) 前田 勉(伊万里小) 中尾 健児(山代東小)	新聞編集 委員長	岸本 弘子 (肥前中)	宇井 幸子 事務

佐賀県PTA連合会HP携帯アクセスはこちらへ Parent Teacher Association

P T A とは・・・父母と教師が協力し、地域や学校での児童・生徒の成長と幸福のための諸活動を行うことを目的とし、各学校単位に組織され自主的に運営される教育団体です。





小城市
牛津小P
右近 貴臣

今年度、小城市PTA連絡協議会の代表として佐賀県PTA連合会の理事に就任した右近です。所属の牛津小学校PTAでは、昨年度までの二年間、執行部として活動させていただきましたが、この二年間は、保護者の方々、地域の方々、また先生方のご協力を得ながら活動を行ってきました。

このPTA活動を通じて、色々な人々との交流、つながりが出来て、たくさんの方々が出来ました。普段は、狭い職場の仲間くらいしか交流のない私にとって、とても有意義な、中身の濃い二年間だったと思います。少子化の今、PTAは、P(ペアレント)とT(ティーチャー)だけでは活動が難しくなっています。これからは、地域の皆様の協力も必要ではないかと思っています。

東北大地震や熊本地震など、大規模な災害では、地域の絆が注目されました。地域を巻き込んだPTA活動は、地域コミュニティの活性化につながるのではないのでしょうか。県PTA連合会の理事として、また小城市PTA連絡協議会の会長として、二年間、まずは、仲間作りから頑張ります。どうぞよろしくお願いします。



鳥栖地区
基山中P
古賀 和浩

今年度、佐賀県PTA連合会理事を初めて務めさせて頂く事になりました鳥栖地区Pの古賀と申します。

鳥栖地区は鳥栖市内の十二校、基山町内の三校の小中学校の連合会です。各単位PTAの活動はすばらしく、学校と協力して魅力ある学校づくりに取り組んでもらっています。鳥栖地区は、単位PTAを色々な活動で結束して、絆を深めています。私は子どもたちの為のPTA活動が必ず地域に広がり学校に伝わり保護者さんに伝わると思っています。私は長い年月PTA活動をしていますが、今年も皆様の御協力のもと活動したいと思っています。宜しくお願ひします。



鹿島市
西部中P
松尾 博雅

今年度、佐賀県PTA連合会の理事を務めさせて頂くことになりました鹿島市PTA連合会の松尾です。

一昨年度に鹿島小学校PTA会長として、PTA活動に携わりました。子どもたちのために何が出来るのか、どうしたら保護者自身も楽しくPTA活動を行うことができるのか、保護者の皆さんや先生方との交流の場を積極的に設け、話し合いながら活動を行ってきました。

今年度は佐賀県PTA連合会の一員として、県内の皆さんとの交流を深め、精一杯頑張っていきたいと思っています。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



三養基郡
三根中P
山崎 裕史

今年度、理事を務めさせて頂くことになりました、三養基郡PTA連絡協議会の山崎です。PTAの活動に携わるようになって今年で六年になりますが、私はこれまで「繋ぐ」ことを意識して活動してきました。学校・地域・保護者を繋ぐ事は勿論、活動を通して出会った人々との繋がりは、かけがえのない財産になっていきます。また、この活動をしつかり次へと繋ぐ事も大切な役割だと思います。そんな「繋ぐ」気持ちを大切に、佐賀県PTA連合会と各市郡連PTAの皆さん、各単位PTAの皆さんを繋ぎ、子どもたちの安全安心のため精一杯努めますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

今年度、佐賀県PTA連合会の理事を務めさせて頂くことになりました嬉野藤津PTA連合会の池田です。



嬉野藤津
大野原小P
池田 研二

今年度、佐賀県PTA連合会の理事を務めさせて頂くことになりました嬉野藤津PTA連合会の池田です。

現在中学三年生の長男が大野原小学校に入学しPTAの活動に関わるようになり九回目になりました。PTA活動を通して色々な人と接していく中で、子どもの成長と共に自分自身も成長する事が出来たのではないかと思います。今回、理事としての活動を通し各単位PTAとの繋ぎ役としての役目をしっかりと果たすと共に、自身の成長へとなるように努めていきたいと思っています。小さな学校からではありますが精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

今年度、理事を務めさせて頂くことになりました、三養基郡PTA連絡協議会の山崎です。PTAの活動に携わるようになって今年で六年になりますが、私はこれまで「繋ぐ」ことを意識して活動してきました。学校・地域・保護者を繋ぐ事は勿論、活動を通して出会った人々との繋がりは、かけがえのない財産になっていきます。また、この活動をしつかり次へと繋ぐ事も大切な役割だと思います。そんな「繋ぐ」気持ちを大切に、佐賀県PTA連合会と各市郡連PTAの皆さん、各単位PTAの皆さんを繋ぎ、子どもたちの安全安心のため精一杯努めますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

平成30年
4月

新しい県立高校が開校します！

佐賀県教育庁県立高校再編整備推進室

平成二十六年十二月に県教育委員会が策定した、「新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画(第一次)」にもとづき、平成三十年四月に次の三つの新高校が開校します。

いずれの新高校も、二つの校舎(校地)を利用する「校舎制」の学校となります。

新高校名 県立鹿島高等学校

◆現在の鹿島高校と鹿島実業高校が再編統合

校舎名	赤門学舎 (現在の鹿島高校)	大手門学舎 (現在の鹿島実業高校)
学科・学級編制	普通科 5学級 (200人)	商業科 1学級 (40人) 食品調理科 1学級 (40人)

新高校名 県立白石高等学校

◆現在の白石高校と杵島商業高校が再編統合

校舎名	普通科キャンパス (現在の白石高校)	商業科キャンパス (現在の杵島商業高校)
学科・学級編制	普通科 3学級 (120人)	商業科 1学級 (40人) 情報ビジネス科 1学級 (40人)

新高校名 県立嬉野高等学校

◆現在の塩田工業高校と嬉野高校が再編統合

校舎名	塩田校舎 (現在の塩田工業高校)	嬉野校舎 (現在の嬉野高校)
学科・学級編制	機械科 1学級 (40人) 電気科 1学級 (40人) 建築科 1学級 (40人)	総合学科 2学級 (80人)

県立厳木高等学校(改編)

◆募集する生徒

西部学区枠(40人)	全県募集枠(40人)
西部学区の生徒を対象	全日制高校で学ぶ意欲と能力のある、県内全域の・不登校経験者・発達障害を持つ生徒等を対象

◆特色ある教育活動

- \$単位制による多様な選択科目
- \$体験的な学習
- \$充実した生徒支援体制

県立厳木高校については、平成三十年四月に、不登校経験者や発達障害を持つ生徒等を対象とした全県募集枠を設ける、「多様な学びのできる学校」として改編されます。

単位制による多様な選択科目の設定や、恵まれた自然環境を生かした体験的な学習の実施、リメディアル(学び直し)教育や充実した生徒支援等、特色ある教育活動を行います。

母親委員長



神埼中P
石橋恵美子

伊万里市



青嶺中P
井上 浩

校長会代表



勸興小 校長
中村 敏智

母親副委員長



佐志中P
石山 恵美

武雄市



武雄中P
大串 成人

佐賀市



鍋島中P
宮崎 悟

母親副委員長



福富小P
西村 悦子

杵島郡



福富中P
吉村 浩

多久市



東部校P
樺島永二郎

新聞編集委員長



肥前中P
岸本 弘子

西松浦郡



有田中部小P
辻 安秀



子育て応援メッセージ

「子育ていちばん！」

あいさつ習慣 日々努力

家族の絆は 日々食育

親子がまん 日々前進

言葉・しぐさで 日々反省

子育て楽しみ 日々発見

長女が中学二年生(末娘・兄二人)思春期の真っ最中、どこまで干渉するかという事です。子どもが小さい時は仕方ないですが、思春期になる頃にはどこまで手を出していいのか？

ここにいるよ、応援しているよ、困った時は助けるよ。と心の中で思っている、ただ見て見ぬふりをする事も大事かなと思っています。

中学生になると、自立するための準備に入る時期だと思えます。母親としてはどの様に接していくかという悩みもあります。

我が家は三世代同居、義理父義理母に助けられながら、頑張っています。そして、私も子どもに甘えさせる環境とゆとりをつくり一緒に風呂に入って「女子会」みたいな会話を楽しく工夫を凝らしながら思春期を乗り越えていきたいと思います。

そしてどんな事も一緒に乗り越えて笑顔で仲良く頑張る事を大切にしています。

山代中P 永島 利恵



白石小P 溝上ひとみ

牧島小学校の
育友会活動

牧島小育友会
会長 津上 照真

牧島小学校は、伊万里市瀬戸町に立地しています。近くには、カブトガニの繁殖地として平成二十七年に国の天然記念物に指定された多々良海岸があり、その保護活動も地域の方々と共に行われていて、とても貴重な自然に恵まれています。児童数は六十五名と少数ではありますがその分児童たちはもとより先生方や保護者間の繋がりの固さを実感しています。

育友会活動については、毎年あいさつ運動を行っています。登校時に「ハイタッチであいさつ」が牧島小学校の朝のあいさつとして定着しています。これは今から三年前、当時の育友会長をはじめ役員の方々と始められました。きちんとお互いの顔を見てあいさつするためにはどうしたらいいのか考えられた

有明西小学校の
PTA活動

有明西小P
会長 菰田 耕介

有明西小は、白石町の旧有明町にあり、農業が盛んで、米麦・玉葱・イチゴ等の産地です。

その農業を通じての農業体験、五年生による田植・稲刈りなどの体験学習、全学年で行う全校餅つき会など保護者、地域の方々のご協力を頂き毎年体験を出来る事を有難い事だと思っています。

昨年度よりコミュニティ・スクールの導入により、学校・家庭・地域による結びつきが尚一層強くなりました。

丸つけサポーターの方々に由る「丸つけ先生」の丸つけボランティア、読み語り、読み語り、まだ一部地区ですが、登下校の見守りサポーターの「戸ヶ里ムツゴロウ隊」の方々に毎朝、一緒に登校して頂いています。他の地区でも、農作業をされている方々など地域の

特色ある
単Pの活動

～伊万里市・杵島郡編～

Vol.47

結果、ハイタッチをすることで自然と視線が合い、子どもたちも楽しくあいさつが出来たというの思いがこのスタイルとなりました。

これを「牧タッチ」としてわが校のあいさつ運動が今も引き継がれています。子どもたちの元気な声や力強い牧タッチは、とても微笑ましく、子どもたちのために始めた活動ですがお互いに元気を与えられて、仕事への活力源にもなっています。

また、三校P(啓成中、伊万里小、牧島小)のPTA、育友会組織の略称)では、各学校のあいさつ運動に訪問し参加する活動を行っています。



伊万里小育友会の方、啓成中PTAの方々も「牧島小学校の子どもたちとの牧タッチが楽しみたい」と言って下さり励みになっています。今年度育友会の活動重点施策「子育ては、親育ち」として、1番に「子どもたちが、地域や学校で元気な挨拶ができるように我が子や地域の子に声をかける。」を挙げています。

この活動を今後も継続し、子どもも親も、明るく元気な毎日を送る上で、挨拶の大切さを実感し取り組んでまいります。

方々に見守られている事によって安心して通学出来る事を感謝し、自力登校で毎日、自分の足で登校出来るように規則正しい生活を送るように、心も体も鍛え、成長出来る事を期待しています。

子どもたちが安心して学校生活が出来るように「学校」「保護者」「地域の方々」一体となって「地域の大人はみんな子どもの先生」を合言葉に、三位一体連携して取り組んでいきたいと思っています。



佐賀県PTA連合会推薦 小中学生総合保障制度(こども総合保険)について

お子様を取り巻く様々なリスクに対応します。

●学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガを補償します。

●他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に補償します。所定の条件を満たした場合、借り物の損害も補償します。ご家族の方も対象です。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。

○制度に関するお問い合わせ先： **0120-228-553** 佐賀県PTA連合会保障制度事務局(取扱代理店:株式会社コーリン)
受付時間:平日午前9時～午後5時(土・日・祝日、年末年始を除く。)

○制度引受保険会社: AIU損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 2017年4月現在の内容です。

承認番号 A-000744 2018-03